



第1話

CSR ってなに？



影山 摩子弥

1959年、静岡県に生まれる。早稲田大学商学部卒
専攻「経済システム論」、経済原論（現職）横浜市立大学
教授 横浜市立大学CSRセンター長
横浜国立大学学生協理 長
キャリアアカウンセラ

こんにちは。隔月でこのコーナーでお会いすることになりました。名前は、「まこや」と読みます。よろしくお願いします。

さて、ここしばらく、企業や行政機関の不祥事が後を絶ちませんね。痛ましい事故も少なくありません。環境事故を起こせば、被害は甚大です。横浜でも、痛ましい事故がありましたし、人命や人々の日々の生活を軽視していると思えない事件もありました。

「いい加減にしろ！」って言いたくなりますよね。

ひとびとのそんな声を受け止めて注目されているのが、「CSR（シー エス あーる）」です。Corporate Social Responsibilityの略で、日本語に訳せば、「企業の社会的責任」となります。

横文字にするとなんか堅苦しいですが、「企業や行政機関は、影響力が大きいんだからちゃんとしろよ！」「そういう責任があるんだぞ！」ってことです。

でも、このCSR、大規模な寄付など何か特別なことをしないとイケないと、ちょっと誤解されることがあります。もちろん、特別なことをしてもいいんですが、でも、しなくてもいいんです。むしろ、企業の姿勢や経営理念がどうであり、そ

れが企業の日々の活動にどう生かされているかが問題なんです。

つまり、消費者の立場としては、製品の安全性や質を軽視したり、環境を平気で破壊したりする企業の製品やサービスなんか買いたくないですよね。それに気づいた企業は、経営を続けるために、社会の声にこたえていこうと、姿勢をただし、質のよい製品やサービスを提供したり、環境を守ろうとしたりします。それがCSRなんです。

「お客さんに喜んでもらえるよう、質のよい製品を作る」、こんなあたり前のことがCSRなんです。でも、そのあたり前ができていない企業があまりにも多いので、CSRが注目されるんです。CSRを意識すると、「誠実経営」とか「ハートフルビジネス」(?)とでもなるかもしれません。

CSRって、日本を暮らしやすくしそうな感じもしますね。CSRの意味を明らかにするのが、私のシステム論の研究です。また、横浜でも、いい取り組みをしている中小企業が結構あります。その話しは、別の機会に。

では、また。摩子弥でした。



**読者アンケートにご協力を！
メールをお待ちしています**

今月号いかがでしたか？ これまでの号も含め感想をお寄せください。Eメールのみでの受付となりますが、たくさんの感想をお待ちしています。

- アンケート内容
1. 今月号の感想
 2. 掲載記事(過去の号の記事も含む)でおもしろかったもの(いくつでも可)

メールの件名を『リサイクルデザイン読者アンケート』とし、アンケートの質問番号の後に回答をお書きください。お名前(フリガナ)・郵便番号・ご住所・年齢・性別・職業をお忘れなく。抽選で10名様にりくみちゃんシャープペンとノートのセットをプレゼントいたします。

P12に回答を寄せていただいた読者の声をご紹介します。

EXメール
mail@recycledesign.or.jp
HP
http://www.recycledesign.or.jp